

杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2014年12月1日発行

12月号 向日市寺戸町辰巳4-1-101号
No. 46 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう!

ホームページ: <http://sugi.pupu.jp/>

投票へ行こう! 社会は変えられる



杉谷伸夫・60才になりました
向日市議会議員・市民クラブ
上植野町イトーピア在住

株価上昇、円安で輸出大企業や大株主は大もうけ。でも実質賃金は低下し、4月からの消費増税で市民生活は悪化の一方です。これで景気が回復するはずがありません。市民生活は大変なのに政府は、秘密保護法や集団的自衛権の行使容認、原発再稼働など、多数の市民が支持していない政策を、次々と進めてきました。(2面に特集)

アベノミクスは結局の所、大企業が潤えば、下々にもお金が回ってくるというのですが、決して回ってこないことは現実が示しています。また、「命より金」を象徴する原発再稼働が進められつつあり、来年になれば、集団的自衛権行使を可能とするための法制定が行われようとしています。私はこれは憲法違反だと思います。

今回の衆議院総選挙は、間違いなくこうした現政権の政策の継続か、変更かを問う選挙です。ぜひ投票に行きましょう! 投票に行かなければ、何も変わりません。私たちの一票が、社会を大きく変えることができるのです。

市民の皆さんの声

先月号に引き続き、市民の皆さんからハガキで頂いた、貴重なご意見の一部を紹介します。

- 現向日市長は、長老の実力者に頭が上がらず、何もしない、できないのではないのでしょうか。老年期に入っている向日市を、もっと住みよいまち作りをして頂ける、活気のある市長の出現を願っています。
- すぐにとはいませんが議会の議場の模様替えをお願いします。議員の姿が一部しか見えない議場はひどすぎます。市民をバカにしています。
- 国民の立場に立ったするどい意見が、もっともっと必要だと思います。市民参加型議会を実現できるようにしてください。

議会・催しのご案内

- ★12月5日(金) 杉谷議員の一般質問
午前10時~12時の見込み(約1時間)
- ★12月13日(土)
 - 午前10時~12時 杉谷伸夫の議会報告会
 - 杉谷ひろば(向陽幼稚園より東100m斜め向い)

- 永田通りの歩きにくい歩道の改修は、どうなっているのでしょうか。特に雨の日などは傾斜もあって、とても滑りやすく危険です。
- 市民プール前の道路の行灯あんどんに、点灯していないものが多数有り放置されたままです。
(…担当部署に確認しました。切れたランプは近日交換予定。行灯はLED灯に変更予定で今年度は東側を実施とのこと)

連絡先

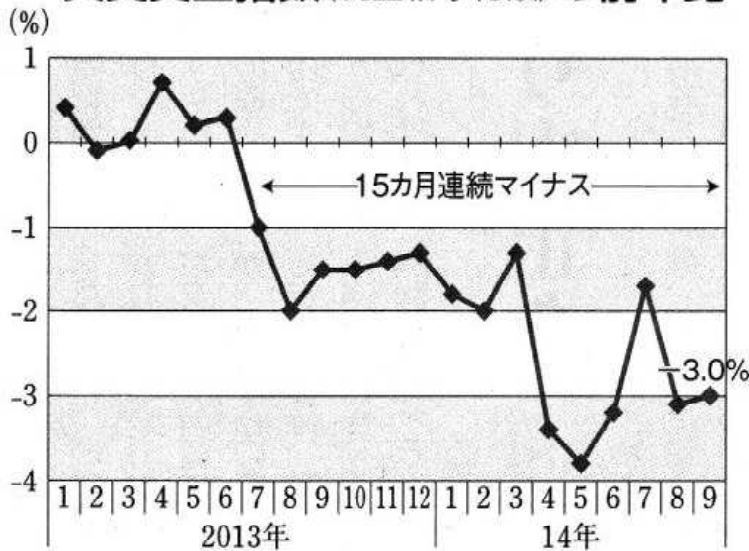
ご相談はまずお電話を! TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



安倍政権の2年を検証する

格差拡大の2年間・・・この現実を、あなたはどのように思いますか？

実質賃金指数(現金給与総額)の前年比



厚生労働省「毎月勤労統計調査」から作成
対象は従業員5人以上の事業所

金持ち経営者は、巨万の蓄財

会社名・氏名	政権発足時	現在
ソフトバンク・孫正義	7271億円	1兆7987億円
ファーストリテイリング・柳井正	4864億円	9726億円
コロプラ・馬場巧淳	256億円	2658億円
キーエンス・滝崎武光	1081億円	2512億円
楽天・三木谷浩史	1183億円	2505億円
日本電産・永守重信	308億円	926億円
テンプレHD・篠原欣子	254億円	825億円
京セラ・稲盛和夫	428億円	584億円
トヨタ自動車・豊田章男	176億円	313億円

※敬称略、金額は保有する自社株の資産価値

安倍政権の重要政策への民意は？ (各種世論調査結果より)

今回の衆議院解散の決断について
(産経新聞・FNN、2014年11月22～23日調査)



アベノミクスによる景気回復の実感はある
(JNN、2014年11月1～2日調査)



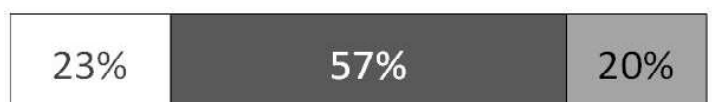
原発の再稼働に対して
(共同通信、2014年10月18～19日調査)



集団的自衛権行使容認の閣議決定に
(共同通信、2014年8月2～3日調査)



特定秘密保護法に対して
(日本テレビ2013年12月13日～15日調査)



杉谷伸夫の

活 動 報 告

議会の一般質問予定

12月5日(水) 午前10時~12時頃の見込(1時間)

1. 市内バス交通を削減・停滞させたのは市長の責任である

巡回バスは多くの市民の要求であり、また多くの議員が公約や政策要求で取り上げてきており、議会の要求とも言えるものです。ところが市長は、巡回バスは数年先の検討課題に先送りしてしまいました。

その代わり、路線バスの再編・整備事業を進めるとしてはいますが、具体的な事業案は未だ影も形もありません。その一方で阪急の路線バスは、この4年間に2度にわたって削減されてしまいました。



そこで市長に以下の点を問いただします。

- ①久嶋市政の4年間に、市内バス交通事業が何も進まなかった責任について
- ②路線バスの再編・整備の検討の進捗状況と、今年度の見通し
- ③向日市のまちづくりにおいて、市内バス交通のもつ重要性について

2. 集団的自衛権の行使容認は、向日市と市民にも大きな影響がある

閣議決定以降のほとんどの世論調査で、集団的自衛権行使容認の閣議決定に対し、過半数の市民が「反対」です。多くの市民が、この解釈変更によって日本が戦争に関わる危険が高まったと感じ、不安を持っています。

こうした市民の不安にもかかわらず政府は、来年の通常国会で多数の関連法の創設・改正を一気

に行うつもりです。

集団的自衛権の行使容認に基づく関連法が万一整備されたならば、例えばアメリカが他国との間で武力行使を行う場合など、法律が発動される可能性が一気に現実になります。その際、自治体には米軍や自衛隊の軍事行動への協力義務が課せられるであろうことから、本市への影響は重大です。

こうしたことが国民的な議論も、自治体への十分な情報提供や協議、議論もないまま一気に進められようとしていることに対し、向日市民を代表する市長として、異議を唱えるべきです。そのことを市長に求めたいと思います。

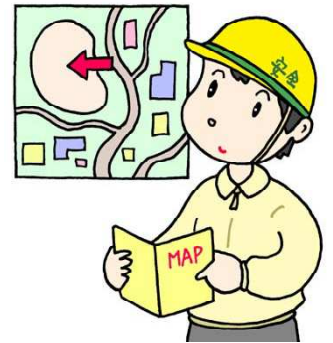
3. 頻発する災害の教訓を向日市の防災に生かせ

(1) 最近の豪雨災害の教訓を、向日市の防災に生かすこと

- ・今年の福知山豪雨のような豪雨が、もし向日市をおそった場合の浸水被害想定は？
- ・広島市土砂災害のように、危険区域等の指定が行われていない危険な地域は無いかな？

(2) 災害から市民を守る行政の役割について

- ・災害情報を住民に伝える同報系防災行政無線(市内各所のスピーカー放送)の整備は？
- ・大地震の時、耐震強度不足の家屋で、市民が重大な被災をしないような現実的な対策は？
- ・来年度作成予定の「防災マップ」に、内水浸水マップの掲載も必要ではないかな？



(3) 福島原発事故の教訓を生かすこと

- ・向日市の防災計画には、根本的欠陥があるのではないかな？若狭湾の原発で事故が起きれば、向日市民も避難が必要な場合があるのに、一切対応が定められていない。
- ・向日市民の多くは再稼働に反対だ。市民の安全が保証されない限り再稼働に反対であるとの文書を、電力会社と国に提出してほしい。

★議会開会中★

12/4(水)・5(金) 本会議／一般質問

※杉谷議員の一般質問は5日の午前10時~12時頃見込

広島、長崎 そして福島

安野 洋子

2011年3月11日の福島第一原発爆発事故後の復興がされないまま、他の原発再稼働がなされようとしている事に腹立たしい気持ちを抱いている時、目からうろこの事実を知った。

藤山一郎の歌で有名な「長崎の鐘」のモデルで平和の象徴のように言われた、医師で原子物理学者の永井隆氏の存在である。

彼は長崎の原爆投下について、以下のように論評した。

- ① 原爆投下は「世界戦争」を食い止め、人類を救う一助となった。
- ② 原爆投下は神のご加護であり、被爆者は「祭壇に捧げられた子羊」である。
- ③ 原発の開発・使用は来るべき原子エネルギーの応用への道を拓いた。
- ④ 被爆後の長崎においては、残存放射線の影響は全くない。（「ラジウム温泉みたい」）

永井論は、戦後の長崎復興の過程を「被爆地長崎」ではなく「観光都市長崎」として再復興する道を選んだのだ。それによって被爆の象徴である「浦上天主堂」は取り壊されてしまったのである。被爆の事実を見えないものにしようとするこのあり方が、現在の福島にも共通している何かがあるのではないか。

ちょうど衆議院選挙の真っただ中、経済のオペノミクスの正否だけでなく、国策による集団的自衛権行使や秘密保護法によって、人々に何がなされようとしているかを知るべきだ。

一部の人々の犠牲と知っていることでも、全員に跳ね返ってくるようになることを考え、一票を投じたいものだ。



原爆投下で破壊された旧浦上天主堂。取り壊され、建てかえられた。

11/15-16 向日市まつりで

「本当のフクシマ」写真展しました

11月15日-16日、向日町競輪場で開かれた向日市まつりで、恒例の写真展を市民のみなさんと一緒に開催しました。今年も昨年に引き続き「本当のフクシマ写真展」。

今年は、向日市民の方が今年6月に福島県浪江町を訪問し、撮影してこられた写真も展示しました。地震による津波で陸上遠くまで運ばれた何隻もの船が、荒地や道路の脇に打ち上げられたまま放置され、壊れた建物もそのまま放置されています。「これは今現在の写真なんですか？」と観た人の多くが驚かれました。

福島県では放射能汚染のため、人が居住できず、一切復興が手つかずのままの地域が広大に有ります。その面積は大阪府の総面積の約半分、向日市の面積の百倍以上です。また子どもの甲状腺がん



手前が子どもの折り紙・塗り絵、奥が写真展コーナー

が103人に見つかっており、すでに57人は手術済みです。

こうした福島の実現を解決せずに、原発の再稼働は議論できないと思いました。（杉谷伸夫）